

宮城県 学び支援教室充実事業

「ほっとルーム」

「学校に行きづらい」「教室に入りづらい」と感じたら・・・



「ほっとルーム」って・・・？

学校に足が向かないときや、教室に入れないときでも、
安心して過ごせる場所です。

学校の中に「自分の居場所」をつくるために設置されました。
古川中学校には「ほっとルーム・かしわ」があります。

宮城県北部教育事務所

大崎市立古川中学校

～こんな教室です～

教室に入るのが不安なとき、安心して過ごせるのが「ほっとルーム」です。

- ※ 少人数での交流で楽しい経験をすること、達成感を味わうこと、体を動かすことなどをしながら、自分の中のエネルギーを回復させます。
- ※ 自分のペースで学習を進め、「できる」「わかる」経験を積み、参加できそうな授業に出て、少しずつ自信を付けていきます。

～私たちが支えます～

学び支援教室専任教員
学び支援教室専任教員
指導員
生徒指導主事

※学級担任、教科担任、養護教諭等の教員、SC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）等の関係機関とも連携して支えます。

～こんな過ごし方をします～

ほっとルームで一日過ごすほか、一部の時間をほっとルームや教室で過ごすなど、一人一人が安心できる過ごし方ができます。

【一日の過ごし方の例】

- 【1】登校
登校時刻に間に合わなくても、何時でも大丈夫です。
直接、ほっとルーム・かしわの教室に登校します。
- 【2】計画
ほっとルーム・かしわの担任と相談しながら自分で一日の時間割を計画します。
学級の授業や行事など、出られるものがあれば参加しますが、無理のない計画を立てます。
5教科だけでなく実技教科もできます。
- 【3】学習・活動
計画に沿って学習や活動をします。
ほっとルームでの学習・活動は、かしわの先生たちと一緒に行います。
学年や教科の先生も、ときどき来ます。計画の変更も、いつでもできます。
- 【4】給食
ほっとルームか学級のどちらで食べるか自分で決めます。
- 【5】清掃・下校
自分が使った机の周りを掃除し、後片付けをします。
一日の振り返りを書ける分だけ書きます。
自分で決めた下校時刻になったら、先生が保護者の方に連絡をし、下校します。

～「ほっとルーム・かしわ」は、ここです～



生徒昇降口から入って、
ほっとルームかしわに来てください。

「ほっとルーム」には、「ほっとする場所」と「あなたをほっこりかないよ！」という意味があります。

「学校には行きたいけれど、教室には入りづらい」「教室でみんなと学習することが難しい」という気持ちに寄り添って、別の教室で学習や活動を行っています。

学習のペースは、それぞれです。まずは、「ほっとルームから始めてみよう」と、一步を踏み出そうとする気持ちを応援していきたいと思います。

家庭と、学校をつなぐ「第3の場所」になれたら…と願っています。
一度、ほっとルームの様子や雰囲気をのぞきに来てみませんか？
お待ちしています。

ほっとルーム・かしわ担当一同



大崎市立古川中学校

〒989-6152 宮城県大崎市古川二ノ構 7 番 54 号

TEL (0229) 22-0236 FAX (0229) 22-6686

<http://www2.educ.osaki.miyagi.jp/furukawa-c/index.html>